

5. 受講志願書の記入方法

受講志願書は、次ページの書式に従ってワープロ等で作成する。手書き文書は認めない。本文は 10 ポイント程度の明朝体で入力し、罫線・飾り文字・ルビなどは用いない。なお、記入用の Word ファイルを、当事業のホームページに用意してあるので、これを利用されたい。

ホームページアドレス <http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/sbosai/fellow/>

各事項の記入上の注意は以下のとおり。

- 氏名(ふりがな):漢字で氏名を記入し、続けて(カッコ)書きで読みをひらがなで記入。外国人の場合は、英語での記入のみで可。
 - 生年月日:西暦で記入
 - 勤務先:勤務先の役所名, 会社名, 学校名, 団体名等を, 部署まで記入する。
 - 住所:勤務先及び自宅の住所, 電話番号, メールアドレスを記入する。勤務先・自宅のいずれか一方のみの記入でも差し支えない。選考過程・講座受講中の諸連絡や個別指導は, すべて電子メールによって行うので, メールアドレスは, 応募者が日常的に使用している, 個人用アドレスを必ず記入すること。
 - 学歴:高等学校卒業以降の学歴を, 年月とともに記入する。
 - 職歴:勤務先などの職歴を, 年月とともに記入する。
 - 免許・資格:防災に関係すると思われる免許, 資格があれば記入する。記入した免許・資格に関する証明書等があればそのコピーを別紙で添付すること。
 - 従事した防災関連業務の内容:現在従事している防災関連業務の内容を, 10 行以内で簡潔に説明する。過去に従事した, 又は今後従事することが予定されている業務でも良い。大学院生の場合は, これまでに行った防災関連の研究内容を説明する。
 - 修了研修の指導を希望する教員名:「修了研修シラバス」を参考にして, 指導を希望する教員名を記入する。詳細は後述する。
 - 修了研修の希望テーマ及び研究計画:「修了研修シラバス」を参考に, 取り組みたいテーマと, そのテーマに関心を持った理由, 自分としての研究計画について 20 行程度で記述する。
- 修了研修担当教員の選択方法について**
- 修了研修の指導を希望する教員は, 「修了研修シラバス」を参考にして, 2~4 名程度を記入する。
 - 必ず「**修了研修シラバス**」(講義・実習ではない)に記載されている教員名を記入すること。講義・実習のみを担当している教員名(5 ページ「担当内容」に A のみ記載されている教員)を書いても無効である。
 - **下記「グループ①(社会科学系)」の中からは 1 名しか選択できない。**「グループ②(自然科学系)」からは複数名を選択して差し支えない。
 - 第 1 希望として「グループ①」の教員を選択した場合は, 第 2 希望以降は必ず「グル

ープ②」から希望教員を選択すること。「グループ②」の教員を第1希望とした場合は、第2希望以降に特に制約はないが、「グループ①」からは1名しか選択できない。

- 本講座主担当者の牛山素行教員*のみは、志望内容により5名程度までの受入が可能である。他の教員は、原則として1名程度の受入となる。
- 受入教員は、各教員の専門と、応募者の志望内容などをもとに選考する。希望通りとならない場合もあることを理解すること。特に、例年「グループ①」の教員は希望者が多く、受入が困難となる場合があるのでよく検討すること。

グループ①

岩崎一孝，小杉素子，小林朋子，藤井基貴，前田恭伸

グループ②

生田領野，牛山素行*，北村晃寿，木村浩之，小山真人，土屋智，橋本岳，原田賢治，増澤武弘，増田俊明